

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	293 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	1 駅 2 番線	舞子公園駅
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	駅	
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	331 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	179	152	0
備考			

本年度までの累計整備費	1,297 百万円
本年度までの累計徴収額	935 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	1 駅	2 番線	舞子公園 (新規)	72 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		1 駅	的形 (継続)	3 百万円
備考	その他の1駅は段差解消を目的とした改札口の新設			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	3 駅	6 基	西代、板宿 (新規) 飾磨 (継続)	164 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費	52		百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			百万円	
備考	維持管理費はエレベーター・エスカレーターにかかる費用			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
累計	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2035年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	1駅	13%	0駅	0%
2027年度	0番線	0%	0駅	13%	0駅	0%
2028年度	0番線	0%	0駅	13%	0駅	0%
2029年度	0番線	0%	2駅	38%	0駅	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	50%	0駅	0%
2031年度	0番線	0%	1駅	63%	0駅	0%
2032年度	0番線	0%	1駅	75%	0駅	0%
2033年度	0番線	0%	0駅	75%	0駅	0%
2034年度	0番線	0%	1駅	88%	0駅	0%
2035年度	0番線	0%	0駅	100%	0駅	0%
累計	— 番線	— %	7駅	100%	— 駅	— %

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
期間中の総整備費	1,297 百万円
期間中の総徴収額	935 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	駅	番線	駅	番線	%
エレベーター	1 駅	2 基	1 駅	2 基	100 %
エスカレーター	駅	基	駅	基	%
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 駅	0 ヶ所	0 %
内方線付点状ブロック	駅	番線	駅	番線	%
段差隙間縮小に資する設備	3 駅	6 番線	3 駅	6 番線	100 %
バリアフリートイレ	4 駅	4 ヶ所	2 駅	2 ヶ所	50 %
車両のフリースペース	編成	両	編成	両	%
その他	2	駅	1	駅	50 %
備考	段差隙間縮小に資する設備				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	0	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	1	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	1 駅	2 基	400 百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線	百万円
段差隙間縮小	3 駅	6 番線	211 百万円
バリアフリースイッチ	4 駅	4 ヶ所	28 百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他		2 駅	53 百万円
備考	その他は段差解消を目的とした改札口の新設		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	5 駅	12 基	308 百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	36 百万円
バリアフリースイッチ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他		駅	百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費	168	百万円	
収受システム改修費	4	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	85	百万円	
備考	その他は駅務機器・駅頭表示・ホームページの運賃改定対応費		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

バリアフリー整備・徴収計画と完了実績の差異については以下の通りです。

スロープ：1駅において設計を計画していましたが、時期を先送りいたしました。

バリアフリースイッチ：4駅4ヶ所を計画していましたが、うち2駅2ヶ所について整備時期を先送りいたしました。

その他：2駅において改札口の新設を計画していましたが、うち1駅について整備時期を先送りいたしました。